

「地域とともにある学校づくり」を支える 地域学校協働活動

定義

「地域学校協働活動」とは、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして実施する活動

活動内容

放課後子ども教室

◆地域住民の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動

地域への行事、お祭り等への参画

◆伝統行事やお祭りでの伝統文化・芸能の発表や楽器の演奏、地域の防災訓練への参画など

羽島市における地域学校協働活動の現状

活動 内容

放課後子ども教室

地域への行事、お祭り等への参画

実際

- 地域の協力を得て、放課後に様々な体験や活動を行う「放課後子ども教室」について、令和2年度までは7小学校区での開催。
- 令和3年度はコロナウイルスの拡大により全て中止。
- 令和4年度は全9小学校区において実施。
- 体験や活動として、お囃子や美濃縞織、雨乞い踊りなどの地域伝統文化の体験や、軽スポーツや工作などを実施。
- ぎふ地域学校協働活動センターの協力を得て、学生ボランティアが参加。



羽島市における地域学校協働活動の現状

活動 内容

放課後子ども教室

地域への行事、お祭り等への参画

実際

- コロナウイルス感染症拡大にともない、地域行事は縮小。
- 令和4年になり少しずつ地域の行事が開催されるようになってきた。
〈令和4年度事例〉
 - ・ 日本伝統芸能継承者育成の会演奏会へ竹鼻小学校6年生が参加
 - ・ 伝統文化福寿こどもいけばな教室へ小中学生が参加



地域学校協働活動の課題

課題

□活動を維持し発展させるために、かかわる人が代わっても、願いや求めるものを伝え、共に歩むことができる組織の継承

- 発足時の地域協力者の固定化・高齢化
- 教職員の異動による地域連携の継承
- 子どもの卒業による保護者の入れ替わり

方向

- 地域の方や保護者のコミュニティ組織への所属やゲストティーチャーなどへの参加・参画を拡大
- 管理職だけでなく教諭や事務職員が学校運営協議会等へ参加し積極的な提案
- 地域・保護者へのさらなる啓発
- 地域における人材育成